



発行所
青森県立木造高等学校
生徒会
印刷所
有限会社 光陽印刷

「学ぶ意味と努力」

校長 大瀬 雅 生



「学問のすすめ」の著者であり、慶應義塾大学の創始者である福沢諭吉は、『天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず、と言へり。』と有名な言葉を残しています。

この言葉は、アメリカの独立宣言の序文である「すべての人間は、生まれながらにして平等である」を意識して引用したと言われています。しかし、彼の言葉の後には、逆の意味の主張が続きます。

それは、「この人間の世界を見渡してみると、賢い人も愚かな人もいる。貧しい人も、

今後に向けて

生徒会長
31 HR 荒谷 佳樹



生徒会では、学校生活を送るために様々な提案や対策を行っています。今年の文化祭も昨年

的な考え方ではなく、全体を見渡した言動ができる生徒を育成しています。

本校では、教育目標に掲げている「誠実」「勤勉」「親切」の三つの校訓をもとに、学習と部活動、学校行事等を通して、生徒の人間形成を育成したいと考えています。生徒へ指導を通して、『生徒が夢と志をもち、地域に根ざし、文武両道をめざしながら、個々の成長につながる豊かな学校』を構築し、『木高プライド』を持ち、自立でき、社会に貢献でき、夢に向かって推進できる生徒を育むことを学校は目指しています。

今、社会に出て求められるスキルは、①コミュニケーション能力(協調性と社会性)、②リスペクト(自己主張ばかりせず、相手を敬うことができる広い心)、③自己管理(日常生活を通じた自らの管理)、④モラル(社会のきまり)、⑤チャレンジ精神(ベストを尽くして目標に立ち向かう)だと考えています。

それを、三年間の高校生活の中で自ら学び、身につけていく、それができるのが創立以来

から目指している「文武両道」の木造高校です。特に、部活動を通して、先生や先輩から学び、それを後輩に伝授していくことが、今の高校生に大切なことであると思います。

そのためには、学習、部活動の他に社会貢献をし、様々な地域等の人たちとふれあい、異年齢の交流とおして自分を一回り大きく成長させてほしいと思います。

高校生の皆さんには、学習だけでなく、多くのスキルを学んでほしいと思いますが、それは、人から言われることではなく、自分がどうしたいかと言うことです。

先ほど、福沢諭吉の言葉は、「人は努力により差が付く」と述べました。現在、私たちの学習は、勉強だけではなく部活動、社会貢献など多種多様ですが、その中で最も大切なことは、「自ら考え行動し、振り返る」というサイクルを続けていくことです。

一人ひとりの想いを胸に、自立できる十八歳を目指し、前に歩んでいく木高生に期待をしています。

全国大会出場者

2021

輝け君の汗と涙
北信越総体

令和3年度
全国高等学校
総合体育大会

陸上競技部

女子100M H

31 HR 工藤 加奈

インターハイでは目標であった入賞に届かず悔しい結果でしたが、トップ選手の実力を肌で感じ、自分の弱さや課題を知ることができ、良い経験ができました。

十月に行われる三重国体では自己ベストを出して入賞できるよう日々の練習に励みます。



柔道部

男子個人100kg超級

23 HR 横山 大士

インターハイの会場は全国大会特有の雰囲気と無観客ならではの静けさによりとても緊張感がありました。試合には負けてしまいましたが、学ぶべきことが多くあり、課題も見つかったのもっと努力して来年はみんなでインターハイに行きたいです。



女子個人48kg級

12 HR 松橋 音葉

今回のインターハイでは、最後まで諦めず、自分の柔道ができなかったが、指導をとられ悔しい思いをしました。全国という舞台に立つて、自分に足りない部分を知ることができたので、これからも日々努力をして、次の試合に繋げられるように頑張ります。

珠算部

34 HR 木村 優泉

私は七月二十三日に青森商業高校で行われた全国高等学校ビジネス計算競技大会の個人戦に出場しました。各地開催だったため、普段の大会と変わらない環境で自分の最大限の力を出し切りました。

わかやま総文

第45回
高等学校
総合文化祭

31 HR 川村 優心

私は、初めての和歌山県での全国高総文に出場してとても緊張しました。

伸び悩む時期を乗り越えてこの大会に出場でき、とても良い経験ができました。



ました。青森県チームは予選敗退という、とても悔しい結果に終わってしまいましたが、チーム全員が今まで以上に相手に向かって勝ちにこだわり、何よりも楽しい団体戦ができました。



令和3年度 高校総体等各種大会 結果一覧(運動部)					
部活動名	大会名	種目	順位	氏名	
陸上競技	高校総体	男子200m	4位	野呂啓都	
		男子800m	1位	澤田翔空	
		男子1500m	5位	澤田翔空	
		男子110mハードル	5位	竹内 豪	
		男子走幅跳	3位	佐野凱春	
		男子円盤投	4位	伊藤諒晨	
		男子やり投	2位	佐々木創雲	
		男子4×100mリレー	6位	渋谷・野呂・佐野・藤森	
		女子100m	4位	太田優那	東北大会
		女子走幅跳	1位	工藤加奈	東北大会
	東北高校陸上大会	女子100mハードル	1位	工藤加奈	
		女子4×100mリレー	5位	太田・工藤・工藤・中畑	
		女子走幅跳	1位	工藤加奈	全国大会
		女子100mハードル	5位	工藤加奈	全国大会
柔道	高校総体	男子団体	2位		
		男子個人73kg級	2位	工藤暁宗	
			3位	佐藤信吾	
		男子個人100kg級	3位	大川響生	
		男子個人100kg超級	優勝	横山大士	全国大会
			3位	田戸岡創	
		女子団体	3位		
		女子個人48kg級	優勝	松橋音葉	全国大会
			2位	五十嵐彩風	
		女子個人52kg級	2位	今 彩香	
弓道	高校総体	男子団体	4位	増田結巴	
		女子団体	4位		
剣道	高校総体	男子個人	2回戦敗退		
バレーボール	高校総体	女子	ベスト8	2回戦 2-0 東奥義塾	
				3回戦 2-0 八戸	
				準々決勝 0-2 五所商	
バスケットボール	高校総体	男子	1回戦敗退	1回戦 67-69 三本木	
				2回戦 68-60 八戸東	
				3回戦 72-66 三沢商	
バドミントン	高校総体	女子団体	2回戦敗退	準々決勝 60-68 八戸北	
				1回戦 3-0 十和田西	
				2回戦 0-3 青森山田	
テニス	高校総体	男子団体	1回戦敗退	1回戦 0-2 弘前南	
		女子団体	1回戦敗退	1回戦 0-2 八戸	
		女子ダブルス	ベスト8	金澤美南・葛西 雛	
		女子シングルス	ベスト8	金澤美南	
卓球	高校総体	男子団体	1回戦敗退	1回戦 0-3 青森東	
		女子団体	2回戦敗退	1回戦 3-1 聖ウルスラ	
硬式野球	選手権大会青森大会		2回戦敗退	2回戦 0-3 弘前実業	
				1回戦 9-8 八戸	
ソフトボール	高校総体		1回戦敗退	2回戦 2-11 八戸西	
				1回戦 1-3 千葉学園	
相撲	高校総体	女子個人	優勝	長谷川理央	
サッカー	高校総体		1回戦敗退	1回戦 1-2 弘前南	

令和3年度 大会結果一覧(文化部)					
部活動名	大会名	種目	順位	氏名	
競技かるた	第23回青森県高校かるた選手権大会	団体	2位		全国高総文
		個人A級	5位	野崎美優	全国高総文
			6位	成田梨沙	全国高総文
珠算	第68回全国高等学校ビジネス計算競技大会 青森県予選会	ビジネス計算	7位	川村優心	全国高総文
			10位	木村優泉	全国大会

部活動報告

陸上競技部男子

33 HR 野呂 啓都

陸上競技部は、五月下旬に行われた高校総体、六月に行われた東北高校総体に出場しました。結果は、男子八種目、女子四種目、合計十二種目で東北大会出場を決めることが出来ました。そして東北高校総体では、女子走幅跳び、女子100mHでインターハイ出場を決めることが出来ました。

硬式野球部

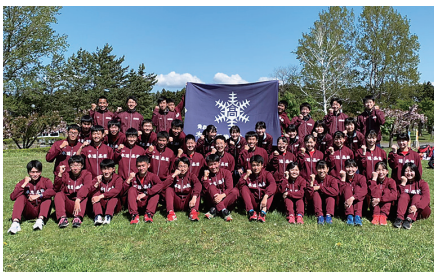
34 HR 梅村 悠希

昨年の秋季大会では県大会に出場できましたが、春季大会では地区大会を逆転勝ちで県大会に出場することができました。県大会では相手のレベルの高さを感じ、打撃面での課題を見つけることができました。そして、打撃面の強化に取り組んできました。今年は二年振りとなる全国大会が開催されます。大会関係者の方々、その他支えてくださる多くの方々に感謝し、今後も頑張りたいと思います。

陸上競技部女子

31 HR 工藤 彩由佳

陸上競技部は、五月下旬に行われた高校総体に出場しました。結果は、男子800mと女子100mHと女子走幅跳の優勝を始めとする十二種目で東北大会出場を果たしました。また、岩手県で行われた東北総体では女子選手一名が二種目で入賞しました。



陸上競技部は、五月下旬に行われた高校総体に出場しました。結果は、男子800mと女子100mHと女子走幅跳の優勝を始めとする十二種目で東北大会出場を果たしました。また、岩手県で行われた東北総体では女子選手一名が二種目で入賞しました。

六回まで0点で抑え迎えた最終回、本高打線が炸裂し一点を取る事が出来ました。しかし、逆転することが出来ず、結果3対1で敗れました。最高の仲間と最高の先生方やコーチの方々の下、ソフトボールが出来て幸せでした。本当にありがとうございます。新チームになりました。新チームになり大変なことが多いと思いますが、ソフトボールが出来ることが多いと思います。感謝し、自分達らしいプレーをしてください。

バレーボール部

33 HR 山本 春瑠乃

バレーボール部は、二回戦で東奥義塾高校に2対0で勝利し、三回戦で八戸高校に2対0で勝利、準々決勝で五所川原商業高校に0対2で敗退しました。ベスト8で終わってしまいましたが、全員バレーで最後まで楽しく試合をすることができたので良かったです。これまでコロナウィルスの影響で様々なことが制限され、思うように活動ができないうような日々が多かったのですが、指導者や父兄の方々の支えのおかげでやり切ることができました。二年次もついてきてくれて、とても感謝しています。これからももっと上を目指して頑張ってください。



サッカー部

33 HR 佐藤 昂生

私たちサッカー部は、高校総体一回戦で弘前南高校と対戦しました。対戦校が決まり、一層練習にも力が入り、非常に良い雰囲気の中で試合に臨むことができたと思います。前半では自分たちのペースで試合展開ができて、相手はミスに乘じて先制することができましたが、勝ちを意識し始めた後半にこちらのペースが落ちたことで相手に攻め込まれることが多くなり、結果的に悔しい逆転負けとなっていました。後輩たちには私たちが果たせなかった県ベスト8という目標に向かって精一杯頑張ってください。



私たちサッカー部は、高校総体一回戦で弘前南高校と対戦しました。対戦校が決まり、一層練習にも力が入り、非常に良い雰囲気の中で試合に臨むことができたと思います。前半では自分たちのペースで試合展開ができて、相手はミスに乘じて先制することができましたが、勝ちを意識し始めた後半にこちらのペースが落ちたことで相手に攻め込まれることが多くなり、結果的に悔しい逆転負けとなっていました。後輩たちには私たちが果たせなかった県ベスト8という目標に向かって精一杯頑張ってください。

男子バスケットボール部

34 HR 木村 旭陽

私たちは六月五日に八戸工業大学第一高等学校で一回戦は三本木高校と対戦しました。前半のリードを守りきれず、後半は相手に流れを掴まれ、二点差で負けてしまいました。悔しい気持ちもありますが、コロナ禍の現在、高校総体に出場できたことに感謝します。また、これまで支えて下さった先生やコーチ、部員の皆さんにも感謝の気持ちでいっぱいです。一、二年次はこの悔しさをバネに目標に向かって頑張ってください。最後になりましたが、私はみんなとバスケができて幸せでした。本当にありがとうございました。



対戦しました。序盤から相手にリードを許し、接戦ではありませんでしたが、一歩及ばず八点差で敗れてしまいました。目標にしていた総体ベスト4を達成することは出来ませんでした。最後まで全員で戦うことができませんでした。後輩のみんなには目標を引き継いで、来年こそは達成して欲しいと思います。

男子テニス部

34 HR 成田 夏輝

男子テニス部は高校総体の三日間、岩木山総合運動公園テニス場で試合をしてきました。団体戦は初戦の弘前南高校に敗れました。個人戦ではダブルス一回戦敗退、シングルス二回戦敗退というとても悔しい結果に終わりました。今回、試合に出場した選手の中には自分の全力を出せずに終わってしまう人もいましたが最後まで誰一人欠けることなく引退できて良かったと思います。そして、今まで応援してくださった方々にはとても感謝しています。これから二年次を中心に練習を一生懸命頑張ってください。



男子テニス部は高校総体の三日間、岩木山総合運動公園テニス場で試合をしてきました。団体戦は初戦の弘前南高校に敗れました。個人戦ではダブルス一回戦敗退、シングルス二回戦敗退というとても悔しい結果に終わりました。今回、試合に出場した選手の中には自分の全力を出せずに終わってしまう人もいましたが最後まで誰一人欠けることなく引退できて良かったと思います。そして、今まで応援してくださった方々にはとても感謝しています。これから二年次を中心に練習を一生懸命頑張ってください。

女子テニス部

31 HR 青木 杏里

私たちは、ダブルス2ペア、シングルス2名、団体戦で総体に出場しました。ダブルスは、金澤葛西ペアがベスト8、シングルスは金澤がベスト8でした。団体戦では初戦で八戸高校に敗退し、悔しい結果となりました。入部してから今まで沢山の方に会えることができたので、その方々には感謝してもきれません。本当にありがとうございました。楽しいことがたくさんありました。辛いこともありました。仲間と一緒に心も身体も強くなることができました。部長でいられて幸せでした。一生の思い出です。これからも応援よろしくお願ひします。



バドミントン部

32 HR 平山 櫻

高校総体、私たちは一回戦で十和田西高校に3対0で勝利し、二回戦はインターハイ出場校の青森山田高校に0対3で敗退しました。新人戦や春季大会で思うような試合が出来なかった選手や、怪我で部活が出来なかった選手もいる中、最後の高校総体ではそれぞれ一番良い試合が出来て満足しています。練習が厳しかった時も支えてくれた仲間や後輩、熱い指導してくれた先生方やコーチ、その他関わってくれた方々にとっても感謝しています。一、二年次には私たちが達成できなかった県ベスト8に入れることを心から応援しています。



は三名が出場し、最高で三回戦敗退という結果でした。高校総体では創部以来引き継いできた「一打入魂」の部訓を胸にチーム一丸となって戦うことができました。最後に、本高卓球部の三年間は仲間にも恵まれ最高の思い出です。ありがとうございました。

柔道部

33 HR 大川 響生

柔道部は、六月五日から六月七日に五所川原市民体育館で行われた高校総体に挑みました。団体戦は男女ともに予選リーグを一位で通過しました。男子団体は決勝トーナメントを順調に勝ち上がり、決勝で青森北高校に2対0で負けて二位入賞、女子団体は準決勝で青森北高校に1対0で負けて三位入賞という結果となりました。



卓球部は、一つでも多く勝つことを目標に練習を頑張ってきました。男子学校対抗は一回戦で青森東高校と対戦し0対3、女子学校対抗は二回戦で弘前実業高校に0対3で敗れました。ダブルスは成田・齊藤ペアが出場し二回戦敗退、女子個人

卓球部

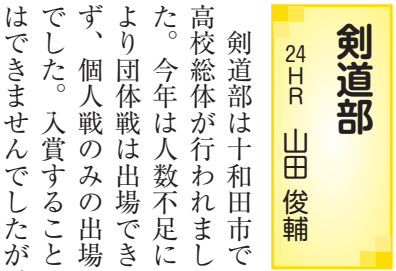
31 HR 兵藤 一美



剣道部

24 HR 山田 俊輔

剣道部は十和田市で高校総体が行われました。今年は人数不足により団体戦は出場できず、個人戦のみの出場でした。入賞することはできませんでしたが、それぞれがベストを尽くすことができたので良かったです。今年は新入生が一名入部してくれたので、三人で活動しています。少ない人数ではありますが、互いに切磋琢磨し、次の試合で良い結果を残せるよう日々の練習を頑張っていると思います。また、コーチや顧問の先生への感謝の気持ちを忘れずに活動していきます。



男子弓道部

33 HR 三浦 颯晟

男子弓道部は六月に行われた高校総体に出場しました。個人戦では誰も決勝に残ることが出来ませんでした。が、



団体四位入賞、技能優秀賞獲得という成績を残すことができました。三年間共に戦ってくれた同期の仲間達、自分達を信じて付いてきてくれた後輩達には感謝の念に堪えません。二年次ながら春季大会や高校総体に出場し、活躍してくれた選手が多いため、自分の実力を信じ、日々の練習に励んでほしいです。木造高校弓道部の今後の活躍を心から期待し、応援しています。



女子弓道部

31 HR 花田 小春

高校総体個人戦では佐野と野呂が予選を通過しましたが惜しくもあと一中足りず決勝敗退となりました。団体戦の予選では四十射二十中が予選二位で通過することができ、決勝に進出し四位の成績を取ることができました。この結果は日頃から支え合い一生懸命共に練習してきた仲間やたくさん応援してくださった先輩方や家族、友達、そして指導



す。昨年度は吹奏楽コンクールがなかったのですが、今年は昨年の分まで頑張っていたと思います。

今年度はまだイベントで本番を経験する機会がありませんでしたが、保護者の方からの応援や、忙しい中、熱心にご指導して下さいました。先生方によって支えられています。その支えに励まされるよう部員一同、全力で頑張っています。

相撲部

32 HR 長谷川 理央

相撲部は、私とマネージャーの二人で活動してきました。高校総体で引退となりましたが、本来一人で活動する予定だった私を三年間、側で支えてくれたマネージャーには本当に感謝しています。また女子相撲は、コロナウィルスの影響で全国レベルの試合ができず、なかなか皆さんに良い結果を報告することができませんでした。今まで応援してくださった方々に結果で恩返しできるようにこれからも日々精進していきたいと思っています。



吹奏楽部

31 HR 神 大河

今年度は、五月二十九日に定期演奏会を予定していましたが、コロナウィルスの影響で八月に延期となりました。したがって、現在は七月からの吹奏楽コンクールに向け、日々練習に取り組んでいます。

今年度はまだイベントで本番を経験する機会がありませんでしたが、保護者の方からの応援や、忙しい中、熱心にご指導して下さいました。先生方によって支えられています。その支えに励まされるよう部員一同、全力で頑張っています。



競技かるた部

31 HR 川村 優心

競技かるた部は、これまで四名という少ない人数で練習してきました。今年度は、一年次が七名入部し、とても賑やかで楽しい活動ができています。競技かるた部は県外への遠征が多いのですが、コロナウィルスの影響で多くの大会が中止となっています。そんな状況でも、六月に行われた昇段大会では、木高から四名入賞し、初段となることができました。一、二年次はまだこれから伸びしろがあると思うので、これか



らもっと練習して、大会での入賞を目指して頑張っていました。

フープロ部

33 HR 野呂 叶夢

フープロ部は、六月十二日に八戸商業高校で開催された大会に参加しました。この大会のために、部員全員で練習に励み、これまでの練習の成果を発揮することができた大会になったと思います。

三年次引退後は、一、二年次が新入大会に向けて練習していくと思っています。部員数が少なく大変だとは思いますが、自分の目標を決めて達成できるように日々の練習を頑張りたいと思います。また、大会では後悔の残らないように精一杯楽しんでほしいと思っています。



珠算部

34 HR 木村 優泉

珠算部は、六月五日



コールについて展示し、将来の安心安全を伝えました。私たちはコロナ禍でもできる活動を考え、今でなければできないことを実施していきます。



茶華道部

31 HR 外崎 未来

茶華道は三年次五名、二年次二名の計七名で活動しています。活動内容はお手前のお稽古や華道のお稽古、文化祭でのお茶会の開催でしたが、昨年度から新型コロナウイルスの影響で活動日が少なかったり、お茶会が開催できなかつたりなど、なかなか自分たちの思うようには活動することができませんでした。しかし、少ない時間の中で、自分達なりにお稽古を頑張ってきました。来年、文化祭でお茶会が開催されたら、二年次には私たちの分



書道部

33 HR 丸岡 万結

も楽しんでお茶会をしてほしいです。

書道部は、二年次二名、三年次三名、顧問の落合先生、指導してくださる鈴木先生と活動しています。このメンバーで仲良く活動に取り組んでいきたいと思っています。活動の内容は、高総文や木高祭での作品出展です。二年次は昨年の経験を活かし、良い作品を、三年次は最後の作品づくりにするので、今までの集大成として全力で頑張ろうと思っています。



美術部

33 HR 木村 愛斗

私たち美術部は今年度から部員が増え、とても賑やかになりました。人の数だけ世界観や表現方法があるので、今年は学校でも、多くの作品に触れられるようになりました。ちょっとした作品展みたいですね。昨年度は、校外の作品展に足を運べなかつたので嬉しいですね。



演劇部

23 HR 秋田 愛香

演劇部は一年次五名、二年次六名の計十一人で活動しています。毎日、第一体育館ステージで基礎トレーニングや立ち稽古など様々な練習に取り組んでいます。主な年間の活動は、木高祭、コンクール、冬季発表会での上演やボランティア活動など多岐にわたります。木



イラスト同好会

34 HR 白取 仁識

イラスト同好会は、一年次十六名、二年次六名、三年次四名で活動しています。基本的な活動内容は、会誌制作となっており、テーマに沿ったものや、テーマを設定せずにフリーで自分の好きなものを描いたフリー絵を集めたものをまとめたページもあります。今年度は、毎年木高祭で無料配布していた葉やキーホルダー作りのコーナーは出来ませんでした。その分、メンバー全員で意識を高め合い、良い作品を作ることが出来るように活動していきます。



つがる市魅力掘り起こし隊

31 HR 荒谷 佳樹

ねぶた制作班は、八月の馬市まつりパレードで運行する馬ねぶたを制作する部です。しかし、今年も馬市まつりが中止となつてしまつたため、現在、活動が出来ていない状況です。また、部員が三年次を除くと一年次一名となつてしまつたため、今後の馬ねぶた制作が非常に難しい状況となつてしまつています。ボランティア、地域貢献に興味がある方は、途中入部も大歓迎です。是非、入部を考えてみてください。



イングリッシュクラブ

32 HR 木村 萌瑠

イングリッシュクラブは毎週月曜日にALTのアリソン先生と一緒に活動しています。英語を使ってたくさんゲームをし、英語力を身に付けています。ハロウィンやクリスマスには、お菓子作りが好きなアリソン先生とクッキーを製作し、昨年度はタコスパーティーを実施し、とても楽しい活動を行いました。私が入部した時



※部活動紹介の記事は、すべて7月中旬に寄稿されたものです。

